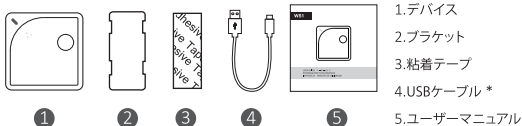


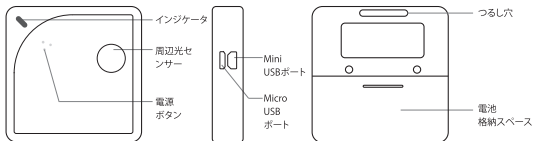
パッケージリ

日本語



* 注意、付属の4線ケーブルのみデータ伝送をサポートできます。他のケーブルでは、PCツールを接続した場合、機能しない可能性があります。

はじめに





デバイスがオンかオフを確認するにはボタンを1回押します。デバイスがオンの場合、デバイスはピープ音を鳴らし、通常はインジケータが緑色に点滅します。ピープ音が鳴らない場合、デバイスはオフです。

• スイッチオン

デバイスをオンにするには、ボタンを3秒間押し続けます。デバイスのピープ音が1回鳴り、インジケータが緑色に点滅し始めます。ボタンを離すと、インジケータが数秒後に消えます。デバイスがオンになります。

• スイッチオフ

デバイスをオフにするには、ボタンを3秒間押し続けます。デバイスのピープ音が鳴り、インジケータが赤色になります。ボタンを離すと、インジケータが消えます。デバイスがオフになります。

• WiFi設定モード

デバイスがオフであることを確認します。ボタンを8秒

間押し続けます。デバイスは3秒後にピープ音を鳴らし、8秒後にインジケータが交互に赤と緑に点滅し始めます。この時点でボタンを離します。注意：デバイスの最初の電源投入時またはリセット後に、デバイスは自動的にWiFi設定モードになります。

• デフォルト設定にリセット

デバイスをオフにします。ボタンを少なくとも15秒間押し続けます。3回のピープ音を聞き、インジケータが何度も赤く点滅したら、ボタンを離します。インジケータは約30秒間点滅し続けます。その後、デバイスは自動的にWiFi設定モードになります。



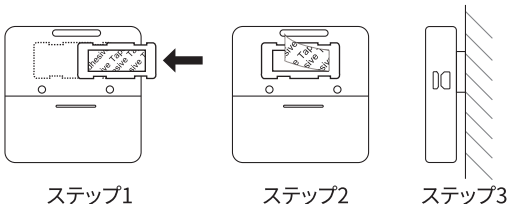
デバイスをリセットすると、保存されているデータはすべて削除されます。デバイスをリセットする前に、データを手動で同期するか、コンピュータにエクスポートしてください。

・手動データ同期

デバイスのスイッチがオンの状態で、ボタンを1回押して手動データ同期を開始します。データが転送されている間インジケータは緑色に点滅します。サーバーに接続できない場合、インジケータは1回赤く点滅します。

取り付け手順

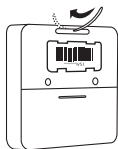
方法1: 表面に貼る



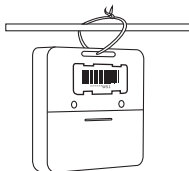
取り付け手順

日本語

方法2: 吊るす



ステップ1



ステップ2

デバイスのお手入れ

- ☑ このマニュアルの指示に従って、デバイスを適切に設定および操作してください。
- ☑ デバイスは防水ではありません。操作、保管、輸送中は水を避けて保管してください。屋外または極限の状態で使用する場合、外部防水プロープの接続について、弊社または販売代理店にお問い合わせください。
- ☑ 酸性、酸化性、引火性または爆発性を持つ物質から遠ざけてください。
- ☑ デバイスを安定した表面に取り付けます。デバイスを取り扱うときは、力を入れないようにしてください。鋭利な器具を使用して開けないでください。

オプション1: モバイルアプリを使用する ステップ 1.

アプリをダウンロード www.ubibot.com/setup

または、App StoreまたはGoogle Playで「UbiBot」を検索してください。

画面のステップガイダンスの指示に従ってください。アプリ経由での設定に失敗した場合、専門的ですが操作が簡単なPCツールをお試しください。

ステップ 2.

アプリを起動してログインします。ホームページで、「+」をタップしてデバイスの追加をします。次にアプリ内の指示に従って設定を完了します。www.ubibot.com/setup でデモンストレーションビデオを見るとステップガイダンスを得ることもできます。



アプリの設定が失敗した場合、携帯電話との互換性が原因の可能性があるため、PCツールを使用することをお勧めします。PCツールは操作がずっと簡単で、MacとWindowsの両方に対応しています。

オプション2：PCツールの使用

ステップ 1.

www.ubibot.com/setup からツールをダウンロードします。このツールは、設定失敗の理由、MACアドレス、オフラインチャートを確認する場合にも役立ちます。また、デバイスの内部メモリに保存されているオフラインデータのエクスポートに使用することもできます。

ステップ 2.

アプリを起動してログインします。デバイスの電源が入った状態で、付属のMicro USBケーブルを使い、デバイスをMicro USBポート経由でコンピュータに接続します。ツールは自動的にデバイスをスキャンして、デバイスページに入ります。

ステップ 3.

左側のメニューバーで「ネットワーク」をクリックします。そこでWiFi上でデバイスを設定できます。

デバイスアカウント

WiFi設定

① ネットワークを選択 — ② デバイス設定 — ③ 完了

ネットワークSSID

ネットワークパスワード

自動

設定開始

- * 設定後は、センサーの測定値を見ることと共に、アプリとウェブコンソールを使用してデバイスを設定できます (<http://console.ubibot.com>)。下記URLで警告ルールの作成、データ同期間隔の設定のデモビデオを見つけて視聴できます。 www.ubibot.com/setup。

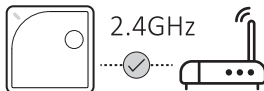
-  電池：2 x 単三電池（アルカリ電池を推奨、付属無）
-  ポート：1 x Mini USB, 1 x Micro USB
-  内蔵メモリ：30万センサー測定値
-  WiFi周波数：2.4 GHz、チャンネル1～13
-  材質：難燃性ABS & PC
-  内部センサー：温度、湿度、周辺光
-  外部センサー：DS18B20温度プローブをサポート
（追加オプション）
-  最適な操作および保管条件：-20℃ ～60℃
（-4°F～140°F）、10～90%RH（結露しないこと）

* センサーの精度は、適切なバッテリーを使用した場合でも、極度な環境条件では影響を受ける可能性があります。上記の最適な操作条件以外での使用は、お避けください。

1. UbiBotアプリを介したデバイス設定の失敗

設定プロセスに影響を与えるいくつかの要因があります。一般的な問題は次のとおりです。

- a) WiFi設定モード：WiFi設定モードをオンにしてください。(デバイスインジケータが赤と緑で交互に点滅します)。
- b) WiFi周波数：WS1は2.4GHzネットワーク、チャンネル1～13のみで接続できます。



- c) WiFiパスワード：WiFi設定をもう一度行い、正しいWiFiパスワードを設定したことを確認してください。
- d) WiFiセキュリティタイプ：WS1は、OPEN、WEP、またはWPA / WPA2タイプをサポートします。

- e) WiFiチャンネル幅：20MHzまたは「自動」に設定されていることを確認してください。
- f) バッテリーの問題：WiFiは多くの電力を使用します。デバイスの電源を入れることはできても、WiFiに十分な電力が供給されていない可能性があります。電池を交換してみてください。
- g) PCツールで試してください。このツールは操作がはるかに簡単で、特定のエラーを返します。

2. WiFi接続がないときにデータを表示する

WiFiネットワークがダウンした状況で、デバイスは引き続き環境データを収集して内部メモリに保存します。WiFi接続なしでデバイスのデータにアクセスする方法には3つあります。

- a) デバイスが接続可能なWiFi接続があるエリアにデバイスを移動します。ボタンを押して、手動でデータを同期します。インジケータが数秒間緑色に点滅します。その後デバイスを持って測定場所に戻ります（推奨）。

- b) 携帯を使用してインターネット接続共有を有効にします。これは、WiFi可能範囲が制限されているか、WiFi可能範囲がないエリアにデバイスが設置されている状況でうまく利用できます。
- c) WindowsノートパソコンとMicro USBケーブルを使用してデバイスに手動で接続します。PCツールを使用してコンピュータにデータをエクスポートします。

3. データの同期失敗

以下を確認してください：

- a) デバイスの電源がオンであることを確認し、ボタンを押してビープ音を聞きます。インジケータが緑色に点滅する時は同期が機能しています。赤色に点滅する時は別の問題があるので、次のステップを試します。
- b) デバイスにWiFiが機能するために十分な電池の電力があることを確認します。WiFiは多くの電力を消費します。

デバイスはオンになっていても、WiFiに接続できないことがあります。

デバイスをUSB電源につなぐか新しい電池に交換します。そして、電源ボタンを押し、データを手動で同期します。

- c) デバイスのWiFiルーターがインターネットに接続されていることを確認します (たとえば、同じWiFiに接続された携帯電話で www.ubibot.com にアクセスしてみます)。



- d) 必要に応じて、WiFi接続が正しく機能していることを確認して、もう一度WiFi設定を行ってください。
- e) WiFiパスワードが変更された場合、またはデバイスを新しいWiFi環境に移動した場合は、WiFi設定を再度実行する必要があります。

4. PCツールがデバイスを認識できない

- a) 梱包に付属のUSBケーブルを使用しているかどうかを確認してください。他の一部のUSBケーブルは 4線 ではないためデータ送信はできません。
- b) スプリッターが接続されている場合は、取り外してください。

技術サポート

UbiBot チームは、弊社製品とサービスへのご意見をお待ちしております。

ご質問やご提案がございましたら、お気軽にUbiBotアプリでチケットを作成してください。カスタマーサービスの担当者は、24時間対応で、通常1時間以内に対応します。地域的なサービスについては、お住まいの国の販売代理店にお問い合わせください。連絡先をご覧になるには、弊社のWebサイトをご覧ください。

1. このデバイスは、最初の購入日から最大1年間、材料および製造上の欠陥がないことを保証されます。この限定保証に基づく請求および保証サービスを受けるには、カスタマーサービスまたは地域の販売代理店に連絡して、製品を梱包し、弊社に返送するための方法をお聞きください。

2. 以下の状況は保証の対象外です：

- ① 保証期間終了後のトラブル。
- ② デバイスの不適切な取り扱い、または指示に従わない操作に起因する誤動作または損傷。
- ③ 推奨温湿度範囲外での使用による損傷、水との接触による損傷（水蒸気など制御不能な水の侵入を含む）、デバイスやケーブル、コネクタに過度の力が加わることによる損傷。
- ④ 素材の自然摩耗や経年変化。製品を不正に取り外したことによる故障または損傷。
- ⑤ 当社は製造または設計による欠陥に対してのみ責任を負います。
- ⑥ 当社は不可抗力または天災によって引き起こされた損害に対する責任を負いません。